

＜ 学校教育目標 ＞
自ら学び
心豊かで
たくましい 稲田っ子

いなだっ子

笠間市立稲田小学校

学校だより NO.1
令和6年4月12日(金)

「令和6年度がスタートしました」

校庭の木々も一斉に芽吹き初め、入学の季節が今年も巡ってきました。新年度を迎えるたびに、子どもたちと桜の木が重なり、思いが広がります。淡い桜色の小さな花が一人の子どもだとすると、一人一人の子どもたちの花々が集まり、学校という一本の桜の木になります。子どもたち一人一人の持つ個性の輝きが、稲田小学校をきっと美しい桜の木にしてくれるもの と思います。

桜の木には、美しい花を支える枝、枝を支える幹、そして幹を支える根があります。凛として45年。稲田小学校は、この地に教育の根を張ってきました。これからも家庭や地域の皆様と共に子どもたちを支え、たくさんの葉を力強く茂らせて、桜の木を立派な大木にしていきたいと思います。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

8日(月)の始業式では、それぞれに進級する2～6年生127名、9日(火)に行われる入学式には新1年生16名を迎え、稲田っ子143名での新しい年度がスタートしました。子供たちの元気で活気のある姿を見て、我々もさらに頑張る意欲が湧いてきました。

4月1日付人事異動により、新しい教職員4名を迎え、21名で稲田っ子の指導にあたっていくことになりました。学校教育目標『自ら学び 心豊かで たくましい稲田っ子』の実現を目指していきます。

新年度は、「新しい出会い」によって始まります。この始まり日は、「たくさんの偶然」と「不思議な時間の巡り合わせ」によるものです。だからこそ『大切にしたいもの』といつも考えます。人の一生は、人との出会いを通して『心を養い、考えを深め、生き方を探る』と言われる。子供たちは日々の学習や生活、大人(保護者や教師)や友だちとの関わりを通して、多くのことを学び成長していきます。子供たちがこれから始まる「楽しい出会い」や「人と関わる喜び」を感じながら、『稲田小学校で学ぶことができてよかった』そう思える学校づくりを私たちは目指していかなければならないと、今、改めて強く思っています。

そのために、子供たち一人一人のもつ、「よさ」や「可能性」を最大限に引き出しながら「学力の向上」と「心の教育の充実」、そして「体力の向上・健康教育の充実」に向けて、稲田小教職員一同、誠実な指導と対応を心がけ、143名の稲田っ子一人一人が、目標に向かって努力する姿を「全カ一心」支え、励まし、後押ししていきます。1年後、子どもと保護者と教職員が、お互いに『よい出会いであった』と言えるようでありたいと、今日この日切に願ってやみません。この新しい出会いが、人生の節目、【糧】となり、より深く、強い絆に育つように、保護者や地域の皆様方には、これまでと変わらない教育活動へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。